販売店様向け資料

パモウナ商品
納品時のチェックポイントマニュアル

お客様納品時に商品を確実に設置する事や、商品の取扱等のご説明を行なう事は、**設置上のトラブルや使用方法の誤りによるトラブル等でお客様へ掛かるご迷惑を未然に防ぎ、**また販売店様におきましては、商品の再納品や再訪問等のご負担を低減することにもつながります。

本マニュアルを印刷して頂き、設置現場にて本紙に従い確実な設置を行なって頂きたいと思います。トラブル低減の為にも是非ご協力・ご活用ください。

マニュアル内容

商品設置中にご質問等がございましたらパモウナ営業部までお問合せ下さい。

20100830

株式会社 パモウナ
本社 営業部販売グループ
TEL 052－653－3355

Pamouna

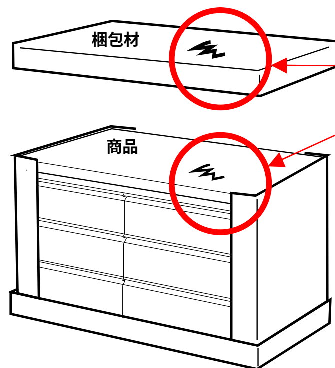
① 商品の納品～設置までの流れ

■ 設 置 前

1．商品に　傷、打コン、割れ　などが無いか？

check！

傷など破損がある場合は、輸送中での破損の可能性もございます。
梱包材の同様の場所に破損が無いかをご確認下さい。



梱包材の同じ場所にキズが無いかを確認します。

■よくある移動の際の破損

・打コン、角打ち、割れ
・背板の凹み、ヒビ割れ
・シートなどの剥がれ、めくれ

撮影のお願い

傷などの状態の写真がございますとやり取りがスムーズに行なえます。
破損・不具合箇所の撮影にご協力下さい。

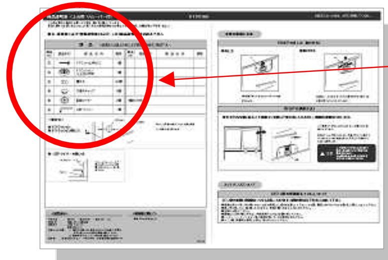
梱包材一時保管のお願い

・万が一、商品に破損があり、商品を返品して頂く際には、商品が梱包されていた梱包材をご使用頂く様、お願いいたします。
・商品設置後に商品に問題が無い事を確認頂くまで一時的に梱包材を保管していただく様お願いいたします。

※不具合発覚時の状況とできるだけ近い状態で確認を行い、より正確な不具合原因を調査する為です。大変お手数ですが、ご協力お願いいたします。

2．付属部品が商品説明書の個数と一致しているか？不足は無いか？

check！



商品説明書　(部品袋の中にあります。)

部品明細の個数と付属部品が一致しているかを確認します。

部品が不足している場合は梱包材に紛れていないかご確認下さい。

各部品は部品袋にて包装されております。部品袋は、引出しなど収納部に直接入っているか、棚板を固定しているダンボール内に入っています。

梱包が特殊な部品（開梱時にご注意が必要です。）

・テレビボードの長い取手・・長いダンボール箱に入っています。（TL、KU、GTなど）
・ワゴン用キャスター・・・・ワゴン下の敷板に貼付してあります。

3．組立説明書に従い商品を組み立てます

参考 資料

説明書の確認不足による組立の間違いや
部品の取り付け不足がございます。
しっかりと組立説明書をご確認の上、設置を行なって下さい。



※扉・ダンパー・引出し・
スライドテーブルの取付け・外し方
も説明書に記載してありますので、
ご確認下さい。

商品説明書 （部品袋の中にあります。）

⚠注意

棚板を商品から取外す際、棚板を落とし内部にキズを付けることがまれにありますので、棚板の取り外しは十分に注意して下さい。

4．引出しや扉にズレが無いかを確認し、調整を行ないます

check！

家具は設置する床の影響を非常に受けやすいものです。
新築の住宅においても微妙な床の高低差は存在し、家具にわずかな
ねじれを与え、扉のズレなどを生じさせてしまいます。この高低差はボール紙
ほどの厚みの物を家具の下に敷く事で解消します。

よって調整は、まず商品が水平になる様に敷板で大まかなズレを直し、その
後、扉や引出しの金具で微調整を行なって下さい。
※敷板は、硬いボール紙、ハガキ、薄い合板などが適しています。

「丁番を調整しても直らない」とのお問合せが多くありますが、
その大半が水平の調整を行なわず、金具のみで調整を行なって
いるケースです。
水平の調整を行なえば、大体のズレは無くす事ができますので、
必ず先に水平の調整を行なって下さい。

参考 資料



取扱説明書
（部品袋の中にあります。）

調整方法は商品付属の
【取扱説明書「6. 設置の際は･･･」】
をご参照下さい

※扉の調整方法は
「本紙④調整のコツ」もご参照下さい。

5．作動確認・設置状態の確認を行います



以下の確認を行い、不具合がある場合は「不具合の対処方法」にて対応を行って下さい。

対象商品	チェック項目	不具合時の対処方法
全商品	外観及び収納内部に傷などは無いか？	梱包材確認
	扉(開き扉・引き戸)の開閉に問題はないか？	付属の説明書を確認・調整
	引出・ｽﾗｲﾄﾞﾃｰﾌﾞﾙの開閉はスムーズか？	付属の説明書を確認・調整
コンセント付き商品	家具でコードを踏みつけていないか？※	コードを直し再設置
	コードがねじれたり、ピーンと張った状態になっていないか？※	コードを直し再設置
サイレントレール商品	引出しの開閉はスムーズか？ 最後まで自動で引き込むか？	③の【トラブル事例】を確認
アクリル前面材商品 60色カラーオーダー商品	保護フィルムを剥がしたか？	―
扉ダンパー付き商品	ダンパーが効きゆっくり閉まるか？	③の【トラブル事例】を確認



※　コンセントの取扱を誤ると大事故の原因となりますので、必ずご確認下さい。

② お客様へ必ずご説明する内容

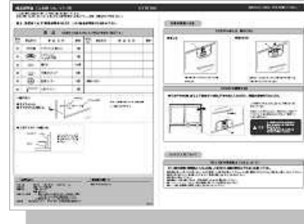
説明する内容 ： 説明書に関して

パモウナ製品には青い印刷（A3サイズ）の取扱説明書と各商品毎のご説明を記した商品説明書がございます。共に安全上の注意や調整方法など**非常に重要な内容**を記したものとなりますので、必ずお客様に渡していただき、内容をご確認頂く様お願いして下さい。

※誤った取扱方法による不具合などが多くございます。



取扱説明書 （部品袋の中にあります。）



商品説明書 （部品袋の中にあります。）

説明する内容 ： 固定金具に関して

固定金具が付属された商品は必ず家具と壁面とを固定するように**取付を行なうか、お客様に取り付けて頂く様ご説明**をおこなって下さい。

※石膏ボードの場合でも取り付け可能です。
※付属の固定金具では短く届かない場合は、
　市販のＬ金具などを取付けて頂く様、おすすめ下さい。



参考 資料



取扱説明書 （部品袋の中にあります。）

調整方法は商品付属の
【取扱説明書「6. 設置の際は・・・」】
をご参照下さい

■コンセントの容量は１５００Wです。
合計の容量が**１５００Wを超えないように**
家電を設置していただく様ご説明下さい。

レンジなど単体で１５００W近くある家電製品
は食器棚のコンセントと壁のコンセント共に
単独で配線して下さい。

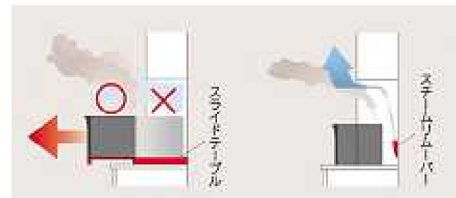


**家電製品の最大消費電力は
家電に付いている定格シール
に記載してあります。**

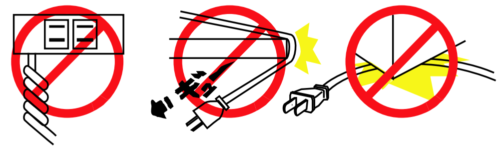
**（家電製品の取扱説明書から
も確認する事ができます。）**



■家電から発生する**蒸気がコンセントに
かからない様に**ご使用頂く事をご説明下さい。
（スライドテーブルもしくはスチームリムーバー
で食器棚の外へ逃がす用に説明して下さい。）



■電源コードや電源プラグに**傷が付かないよう**
なご使用をお願いして下さい。



■コンセントの**定期点検の実施**をご説明下さい。
・コードに傷が付いていないか？
・プラグにホコリが付いていないか？
・周りに燃えやすいものを置いていないか？

**コンセントの取扱を誤ると大事故の原因となりますので、お客様への
ご説明が非常に重要です。十分なご説明をお願いいたします。**

参考 資料



**商品付属の
【取扱説明書「1. 安全上のご注意」】
をご参照下さい**

取扱説明書 （部品袋の中にあります。）

説明する内容 ： 商品の使い方

商品の使い方について以下のお問合せが多くございます。
説明書に記載されている内容を基に、使い方をご説明下さい。

お問合せを多く頂く内容

・レールの取外し方　（引出しの奥に物を落とした場合など）
・皿仕切り、間仕切りセットの使い方
・スライドテーブルストッパーの付け方、外し方
・フラップ扉の硬さ調整の仕方

参考　資料



商品説明書 （部品袋の中にあります。）

商品付属の
【商品説明書】 をご参照下さい

説明する内容 ： お問合せナンバーの貼付場所

パモウナ製品には製造年月や製造工場を特定する為の
ロットＮｏシールが貼付してあります。
商品の不具合時や取扱方法の**お問合せ時に必要な番号**
となりますので、事前にロットＮｏシールの貼付位置を
お客様にご説明下さい。

◆ ロットNO．シールの見本例

お問い合わせの際には、
下記の番号が必要とな
りますのではがさないで
ください

ロットNo
1 2 3 4 5 6 7
株式会社　パモウナ

**このロットNoで商品特定が即座に行なえ、不具合発生時に
より迅速で確実なご対応が可能となります。**

**納品・設置の際、万が一不良が発見された場合は不具合内容と共に
ロットNoをご確認の上、お知らせください。**

貼付位置は本紙
【⑤ロット番号シール貼付位置について】 をご参照下さい。

③ よくある設置上のトラブル事例と解決方法

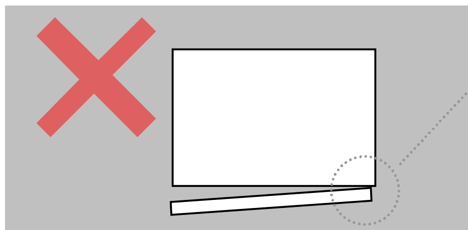
トラブル事例 ： 開き扉が最後まで閉まりきらない・隙間が出来る

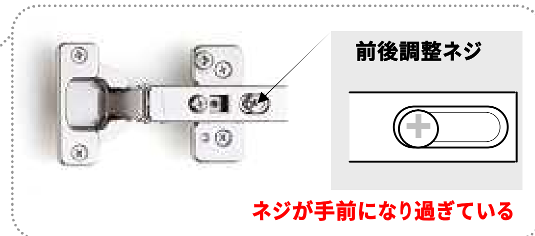
以下のケースが考えられます。

ケース A：丁番の調整範囲を超えている。 （→扉を閉めようとしても、浮くように開いてくる。）

原因：扉の丁番調整を強引に行ない、調整範囲を超えています。

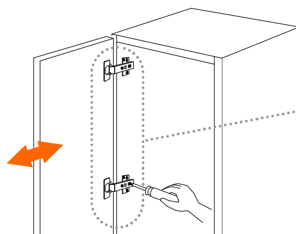
本体と扉のクリアランスが少ない為、閉まりきらない

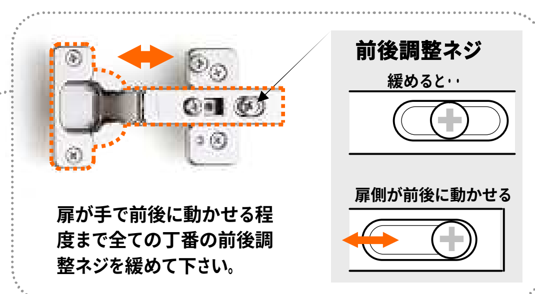




解決方法 以下の手順で丁番の前後調整ネジを使い、扉を手前に出して下さい。

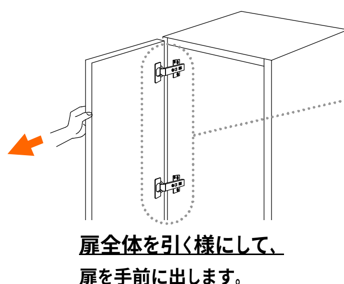
①全ての丁番の前後調整ネジを緩めます。



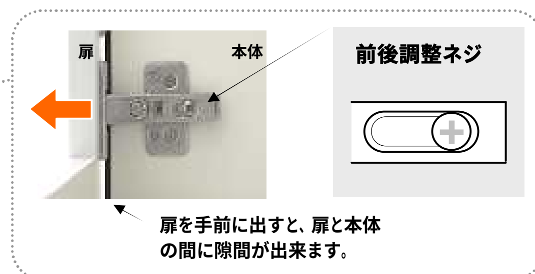


扉が手で前後に動かせる程度まで全ての丁番の前後調整ネジを緩めて下さい。

②扉全体を手前に出し、調整ネジを固定します。



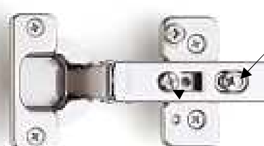
扉全体を引く様にして、扉を手前に出します。



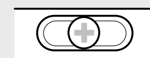
扉を手前に出すと、扉と本体の間に隙間が出来ます。

上記で改善しない場合は・・・

上記を実践し改善しない場合は、丁番の調整ネジを初期の状態に戻し、床の水平調整を行った後、丁番調整ネジでの再調整を行ってください。



初期の状態



前後調整ネジ	ネジを中心に戻す	
左右調整ネジ	飛び出しを2mm程度に戻す	

ケース B：耐震ロックが扉の内側の受け金具に接触している

原因：受け金具が本体ロックの突起部に干渉している。



解決方法

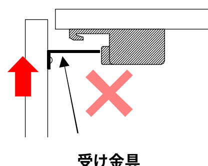
①丁番で扉の上下調整して下さい。

②扉内側の受け金具の上下位置を調整して下さい。



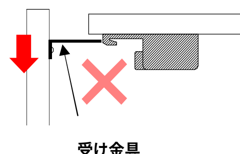
【受け金具が低い場合】

受け金具の位置を**上げます**。

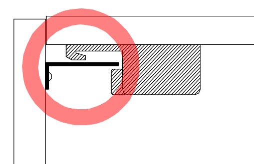


【受け金具が高い場合】

受け金具の位置を**下げます**。



【正常な位置】



ケース C：ダンパーの動きが悪く扉に干渉している

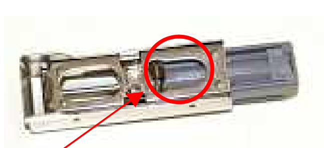
原因：丁番の左右調整ネジがダンパーに干渉しています。左右調節ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出してダンパーが機能しなくなり、扉が閉まりきらなくなります。

●ダンパーが干渉している際の**丁番の状態**



左右調整ネジが**3mm以上**突起しているとダンパーが干渉する。

●ダンパーが干渉している際の**ダンパーの状態**



ココに**こすれキズ**があります。

解決方法

左右調節ネジを左に回し、ネジの突き出しを3mm以下に抑えて下さい。

※丁番調整後、ダンパーが元の丁番位置に戻せない場合は、別の丁番に取付けて下さい。

参考資料

ダンパーの取付け･取り外し方は【商品説明書】をご参照下さい。

トラブル事例　：　扉ダンパーが効かない、ゆっくり閉まらない

原因：前ページ（P.９）の
【③開き扉が最後まで閉まりきらない・隙間が出来る】のケースＣと同様の原因です。

その他、丁番とダンパーが干渉していると以下の様な不具合も発生します。
同様の解決方法を行なって下さい。

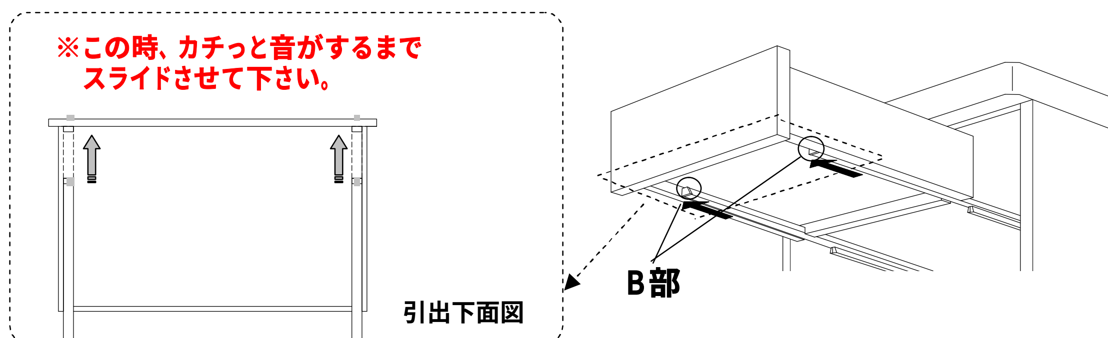
・ダンパーが作動しない。
・ダンパーが取付けられない。
・ダンパーが外れやすい。

解決方法　前ページ（P.9）のケースＣの解決方法をご参照下さい。

トラブル事例　：　サイレントレールが閉まりきらない

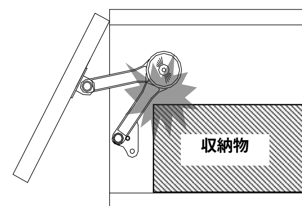
原因：引出しとレールが固定されていない可能性がございます。
一度引出しを取外した場合などに考えられます。

解決方法　下図を参考にレールのＢ部を前へスライドさせ、引出しとレールを固定します。



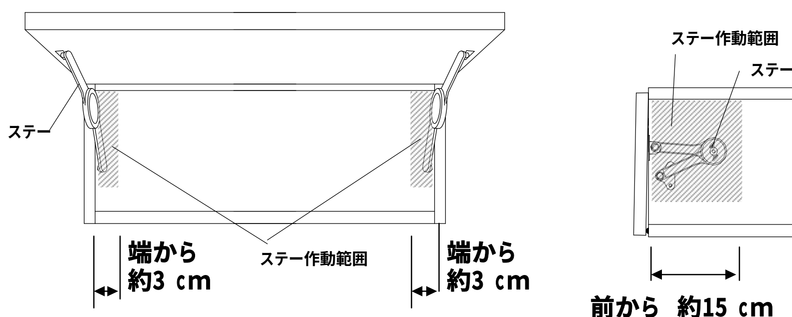
トラブル事例　：　フラップ上置の扉が閉まりきらない

原因：扉を支えるステーの作動範囲に収納物があると**ステーが収納物にあたり、**扉が閉まりきらなくなります。



※扉の当たり止め（バンポン）がある為、当たり止めの厚み分（2mm程度）隙間が開く設定になっています。

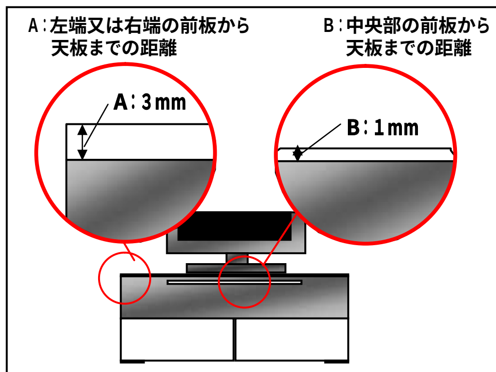
解決方法　ステーの作動範囲（下図斜線部分）に収納物を置かないようにして下さい。

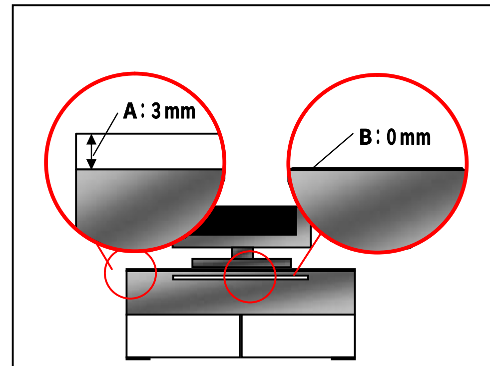


トラブル事例　：　テレビを設置したら、天板が沈んでしまう

木製品の特性上、荷重をかけると若干天板は沈みます。

・前板の頂点から天板の頂点までの距離を測ります。
A（端）に対してB（中央）の沈んだ距離が　約2mm以内　の範囲が正常な状態です。







例：Aの距離が3mm
Bの距離が1mm
沈んだ距離が　約2mm　であれば
TVを載せた場合の正常な状態（沈み具合）です。

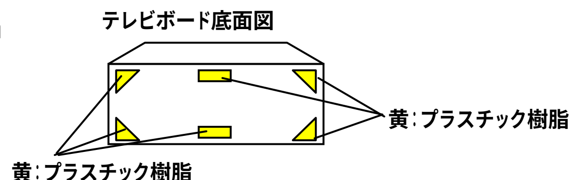


それ以上沈んでいる場合、
以下のケースが考えられます。

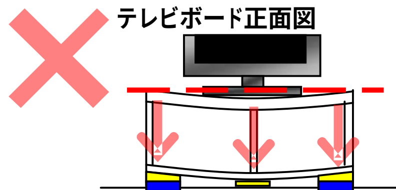
ケース①：テレビボードの四隅にフェルトを貼った。

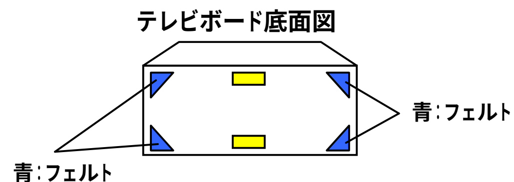
解決方法　テレビボード底面についているすべてのプラスチック樹脂にフェルトを貼り付けてください。

パモウナの商品底面には床を傷つけないために、厚さ3mmのプラスチック樹脂が取り付けられています。
プラスチック樹脂は商品の四隅だけでなく、荷重のかかる部分に取り付けられています。



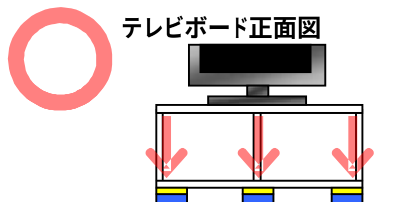
四隅のプラスチック樹脂にフェルトを貼ると・・

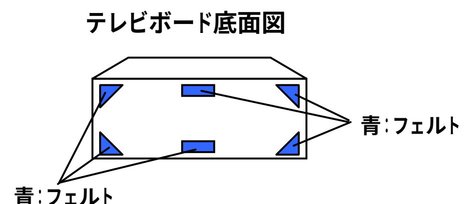




テレビボードと床の間に隙間ができ、天板が沈みます

全てのプラスチック樹脂にフェルトを貼ってください。





ケース②：床の微妙な高低を受けて沈んだ。

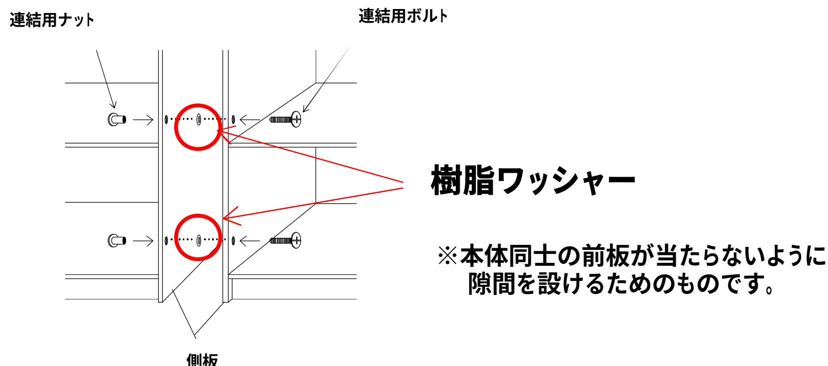
解決方法　敷板等でテレビボードを水平にしてください。

天板が大きく沈んでいる場合は、床の高低差が大きい可能性があります。
住宅のいろいろな場所に設置し、床面が水平になっているかどうか状況を確認してください。
設置する場所のみで天板が沈む場合は、テレビボードと床の間に敷板を敷き調整します。

トラブル事例　：　組合わせ商品で、下台の引出し同士がぶつかる

原因：下台の連結時に樹脂ワッシャーを付けていない可能性がございます。

解決方法　下台同士の間に樹脂ワッシャーを取付けて下さい。



トラブル事例　：　組立時に特に注意を要する商品

以下の商品は組立や調整方法が特殊なものです。
組立説明書を確認せずに組立や調整を行なった場合、**不具合や破損の危険性**がございますので、必ず商品説明書に従い組立・調整を行なって下さい。

- ・ＱＳシリーズ・・・・・・・・・・扉の調整方法
- ・ＤＡシリーズ・・・・・・・・・・デスクの組立方
- ・ＮＵシリーズ・・・・・・・・・・下台と天板の組立方

参考資料

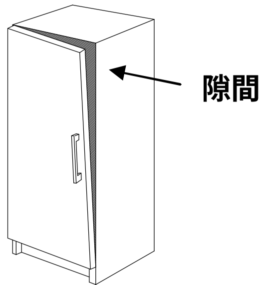


商品付属の
【商品説明書】　をご参照下さい

商品説明書　（部品袋の中にあります。）

④ 調整のコツ

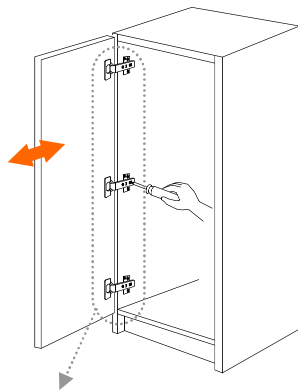
調整のコツ　：　大きな開き扉の隙間調整

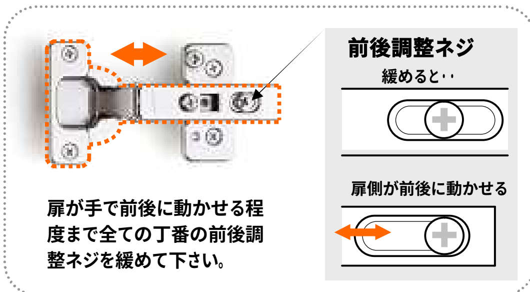


大きな開き扉の商品は、扉と本体の隙間が目立ちやすいので、以下の方法にて隙間の調整を行なって下さい。
また、この方法は開き扉全般で同様に行なえますので、通常の調整で隙間が無くならない場合などは非常に有効な方法です。

※以下の方法で隙間が直らない場合は、扉が反っている恐れがありますので、お手数ですが、扉の反りを計って頂き、弊社にご連絡下さい。

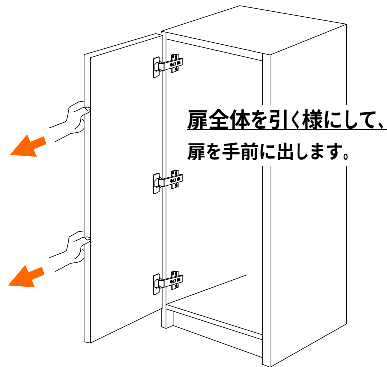
① 全ての丁番の前後調整ネジを緩めます。



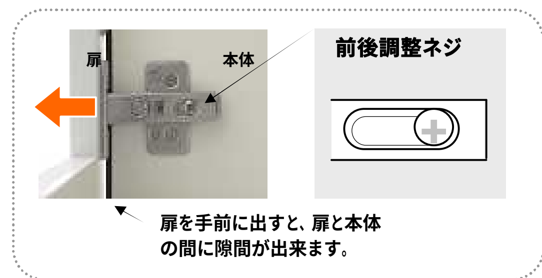


扉が手で前後に動かせる程度まで全ての丁番の前後調整ネジを緩めて下さい。

② 扉全体を手前に出します。

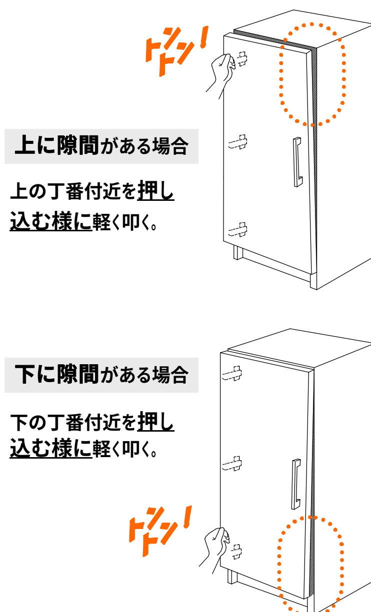






扉を手前に出すと、扉と本体の間に隙間が出来ます。

③ 扉を軽く叩き隙間を調整します。



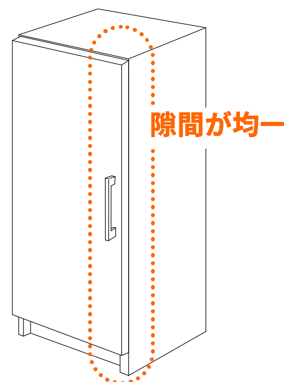
上に隙間がある場合

上の丁番付近を押し込む様に軽く叩く。

下に隙間がある場合

下の丁番付近を押し込む様に軽く叩く。

④ 上下に隙間が無いか、又は均一かを確認します。



⑤ 丁番の前後調整ネジを固定します。



扉を開きすぎると、④で設定した丁番位置がずれてしまいます。

⑤ ロット番号貼付位置について

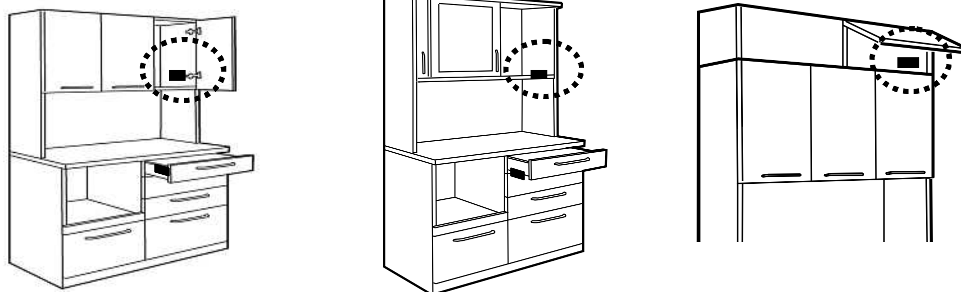
万が一商品に不具合等がございましたら、製品貼付の
ロットNoのご連絡をお願いいたします。
ロットNoシールの貼付位置は以下になりますので商品
の形態に併せ貼付位置をご確認下さい。

◆ ロットNO. シールの見本例

お問い合わせの際には、
下記の番号が必要とな
りますのではがさないで
ください
ロットNo
1 2 3 4 5 6 7
株式会社 パモウナ

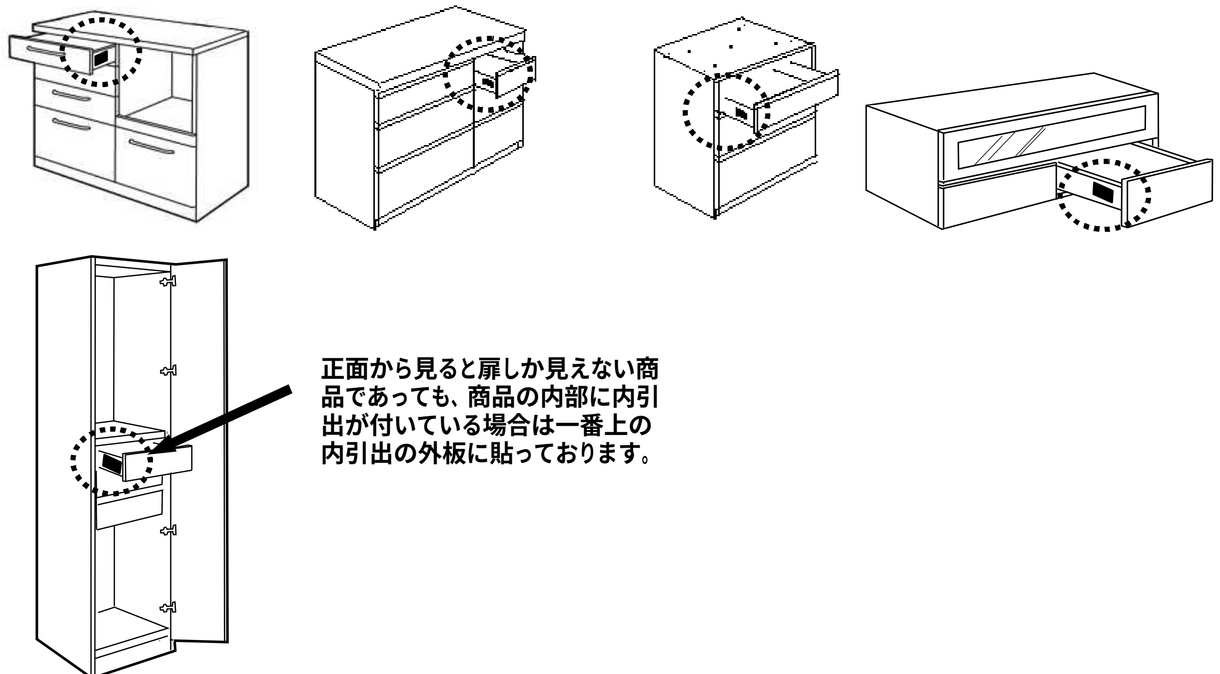
■食器棚の 上置き・上台 は基本的に扉を開けた右内側に貼っております

＜例＞



■食器棚の下台／TVボードは、基本的に商品の1段目の左右どちらかの引出の外面に貼っております

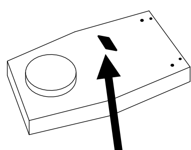
＜例＞



正面から見ると扉しか見えない商
品であっても、商品の内部に内引
出が付いている場合は一番上の
内引出の外板に貼っております。

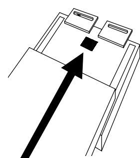
■例外：以下の商品は特別な場所にシールが貼ってあります。

例外①
MC-90C・TL-90C等



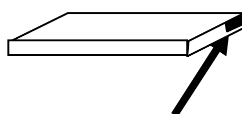
※天板の裏面

例外②
XS-35・60



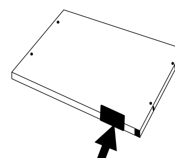
※テーブルを引き出す
と見える地板上面

例外③
CP,SO天板等



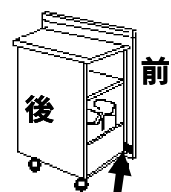
※天板横木口面

例外④
バックパネル類



※パネルの木口面（テープ側）

例外⑤
SO-60W・SO-61W・等ワゴン



※前板の裏側

パモウナ製品　納品時チェックシート

担当者：

お客様納品時に商品を確実に設置を行い、不足のない商品の取扱等のご説明を行なう為にも、本紙のチェック項目に従い確認をお願いいたします。

納品日	年　　　月　　　日
お客様名	
商品名	

■商品の納品、設置に関する確認事項

□	商品に　傷、打コン、割れ　などはなかったか。 →　傷などがあった場合、梱包材の同一箇所の確認もお願いします。
□	付属部品が商品説明書の個数と一致しているか。（不足の確認） →　部品が不足している場合、梱包材に紛れている場合がございますのでご確認をお願いいたします。
□	組立説明書に従い商品を組み立てを行なったか。
□	引出しや扉にズレはないか。商品の水平の調整を行なったか。 →　ズレなどがあった場合、取扱説明書に従い、調整を行なって下さい。

■作動確認・設置状態の確認事項

□	対象：全商品	外観及び収納内部に傷などはないか。
□	対象：全商品	扉（開き扉・引き戸）の開閉に問題はないか。
□	対象：全商品	引出・スライドテーブルの開閉はスムーズか。
□	対象：コンセント付き商品	家具でコードを踏みつけていないか。
□	対象：コンセント付き商品	コードがねじれたり、ピーンと張っていないか。
□	対象：サイレントレール商品	引出しの開閉はスムーズか。　自動で引き込むか。
□	対象：アクリル前板の商品 60色カラーオーダー商品	保護フィルムを剥がしたか。
□	対象：扉ダンパー付き商品	ダンパーが効きゆっくり閉まるか。

■納品後のお客様へのご説明事項

□	固定金具の取り付け、又は取り付けのお願いをしたか。
□	コンセントの取扱についての説明。
□	お問合せナンバーの貼付場所の説明。
□	商品に付属している商品説明書・取扱説明書をお客様へ手渡し、保管のお願いをしたか。

■商品に不具合があった場合の確認事項

□	商品名、ロット番号は確認は完了しているか。
□	トラブル事例を確認しているか。
□	梱包材にも傷・破れなど問題はあるか。 →写真を撮って頂けると大変助かります。

備考（トラブル内容など記入）

お客様　ご確認サイン